

2004 年 5 月の東北地方の天候

【 5 月の特徴 】

- ・ 記録的な多雨・日照不足
- ・ 高温

(1) 概況

上旬、天気は数日の周期で変化した。しかし、中・下旬は低気圧や前線の影響を受けやすく、梅雨のはしりとなって記録的な多雨・日照不足となった。また、寒気や冷たく湿った東よりの風の影響で低温となる時期もあったが、太平洋高気圧の勢力が強く、日本海の低気圧や前線に向かって暖かい南風が流入し高温となった。

月平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。月降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。月間日照時間はかなり少ない。

(2) 天候経過

上旬： 3～4日と9～10日は日本海を進んだ低気圧や前線の影響で曇りや雨となり、4日は秋田県で大雨により土砂崩れが発生した。また、5～6日にかけては日本の南海上に残った前線やオホーツク海高気圧の影響で、東北太平洋側の南部を中心に曇りや雨となったが、東北日本海側は概ね晴れた。その他の日は高気圧に覆われ晴れた。

平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側で平年並。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。

中旬： 低気圧や前線が短い周期で日本海を進み、曇りや雨の日が多かった。また、19～20日は台風第2号が日本の南海上に北上し、日本の南に停滞していた前線の活動が活発化して曇りや雨となった。なお、日本海の低気圧に向かって暖かい南風が流入したため、気温はかなり高かった。

平均気温はかなり高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

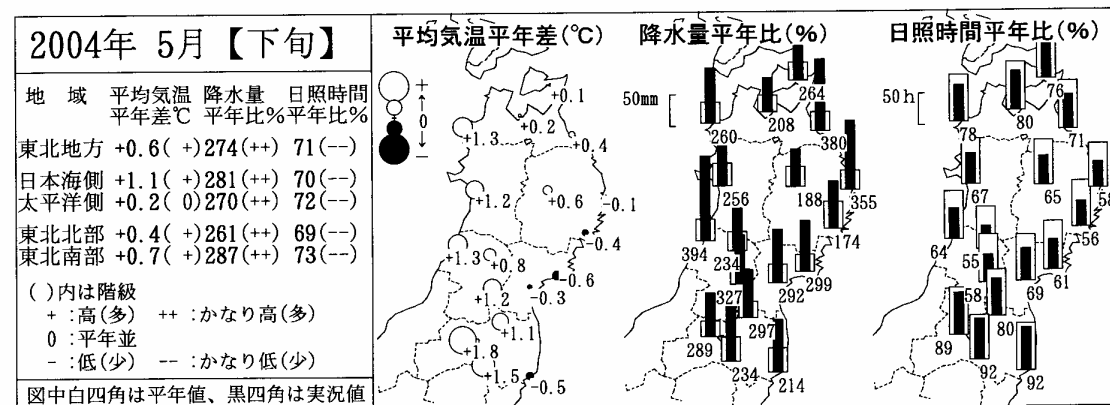
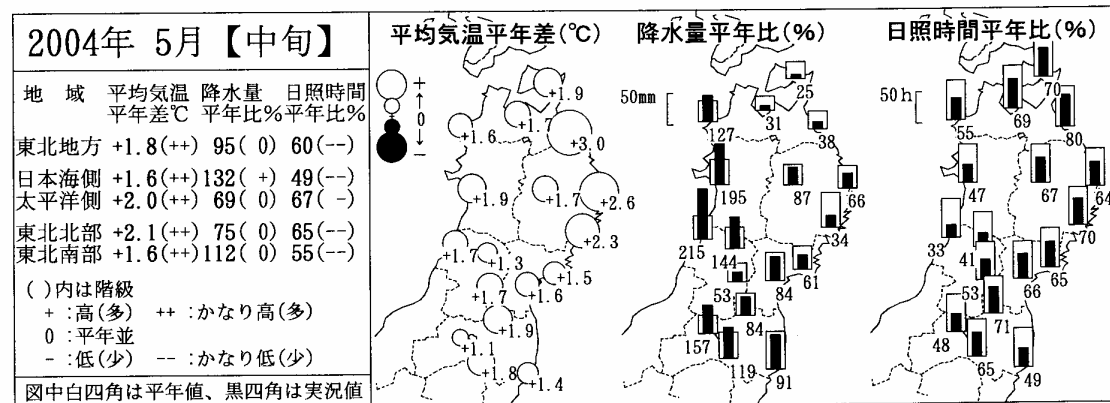
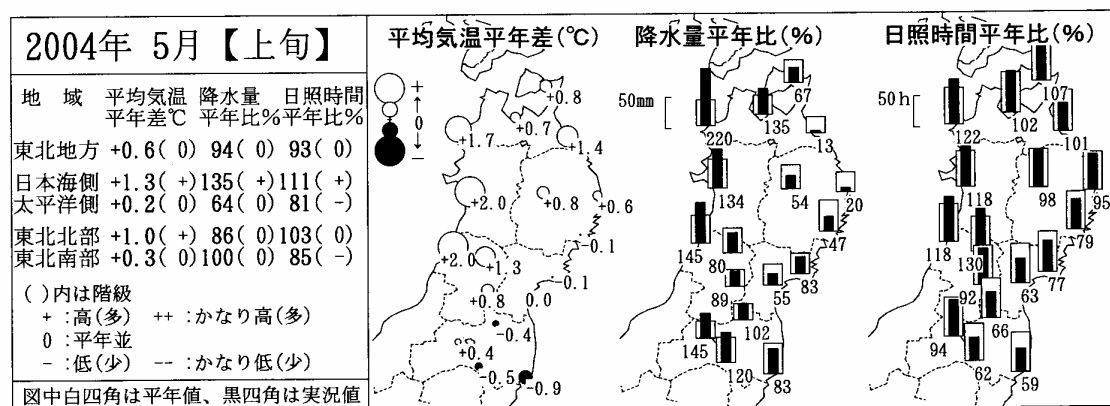
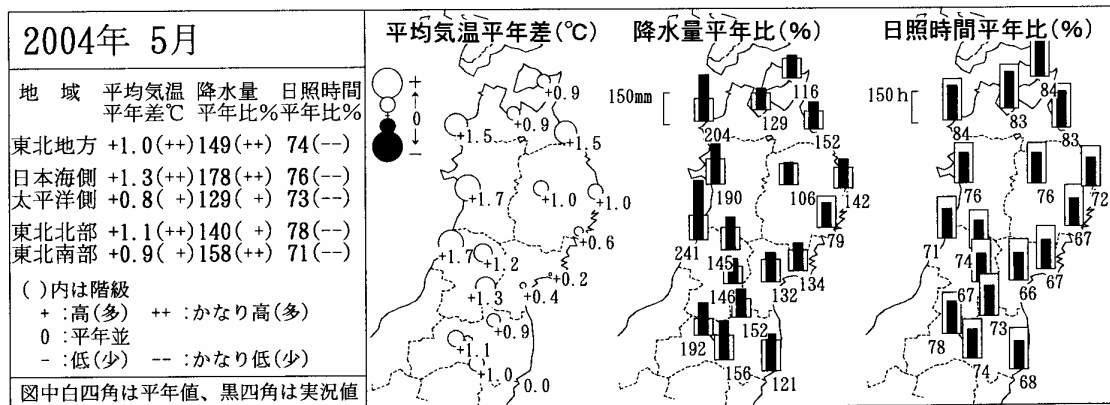
下旬： 期間の中頃は高気圧に覆われ概ね晴れたが、その他の日は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。特に、21日は三陸沖を北上した台風第2号や前線の影響で、東北太平洋側は大雨となる所があった。また、期間の前半は寒気や冷たく湿った東よりの風の影響で東北太平洋側を中心に低温となったが、後半は日本海の前線に向かって暖かい南風が流入して真夏日となる所があるなど高温になった。

平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側で平年並。降水量はかなり多い。日照時間はかなり少ない。

注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注を参照して下さい。

(3) 2004年5月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



注) 細分地域

東北日本海側: 青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側: 青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部: 青森県、秋田県、岩手県

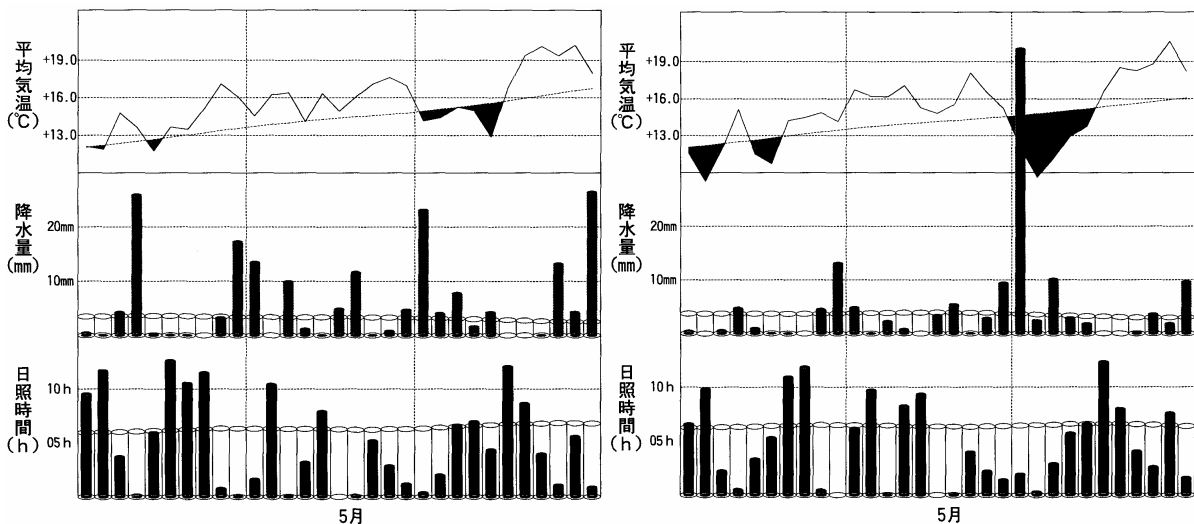
東北南部: 宮城県、山形県、福島県

(4) 月気候表 (2004 年 5 月)

地 点	月平均気温(平年差)			月降水量(平年比)			月間日照時間(平年比)		
		階級		mm	%	階級	h	%	階級
青 森	14.0 (+0.9)	+		102.0 (129)	+		174.8 (83)	-	
深 浦	14.5 (+1.5)	+ *		222.0 (204)	+ *		165.0 (84)	- *	
む つ	13.0 (+0.9)	+		107.0 (116)	+		174.3 (84)	-	
八 戸	14.6 (+1.5)	+ *		129.0 (152)	+		172.6 (83)	- *	
秋 田	15.9 (+1.7)	+ *		233.5 (190)	+ *		145.1 (76)	- *	
盛 岡	14.8 (+1.0)	+ *		109.5 (106)	+		147.7 (76)	- *	
大船渡	14.2 (+0.6)	+		119.0 (79)	0		132.1 (67)	- *	
宮 古	14.1 (+1.0)	+		140.0 (142)	+		137.2 (72)	- *	
仙 台	15.3 (+0.4)	0		142.0 (132)	+		131.7 (66)	- *	
石 巻	14.2 (+0.2)	0		132.0 (134)	+ *		139.1 (67)	- *	
山 形	16.7 (+1.3)	+ *		118.5 (146)	+		135.4 (67)	- *	
新 庄	15.4 (+1.2)	+ *		155.0 (145)	+ *		132.6 (74)	- *	
酒 田	16.6 (+1.7)	+ *		281.5 (241)	+ *		141.4 (71)	- *	
福 島	17.4 (+0.9)	+		133.0 (152)	+ *		144.0 (73)	- *	
若 松	16.6 (+1.1)	+ *		154.5 (192)	+ *		154.3 (78)	- *	
白 河	15.8 (+1.0)	+ *		187.0 (156)	+ *		139.4 (74)	-	
小名浜	15.1 (0.0)	0		177.5 (121)	+		135.5 (68)	- *	

観測値欄の記号は、×：欠測)：欠測日を含む ：現象なし ---：観測をしていない
階級は +：高い(多い) 0：平年並 -：低い(少ない) *は「かなり」を表す

(5) 日別経過図 (2004 年 5 月)



東北日本海側の日別経過図
東北太平洋側の日別経過図
気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均 (気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱)

注) 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3階級とし、それぞれの階級幅は、1971～2000年の30年間に
おいて出現した値を等確率(33.3%)に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率
10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文
にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地
域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

(6) 月統計値の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間の 3 位まで。)

月平均気温 高い方からの極値・順位更新

順位	地点名	気温()	これまでの最高()(起年)	統計開始年	平年値()
2 位	新 庄	15.4	15.9 (1998 年)	1986 年	14.2
3 位	酒 田	16.6	17.0 (1998 年)	1937 年	14.9

月降水量 多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	降水量(mm)	これまでの最大(mm)(起年)	統計開始年	平年値(mm)
1 位	酒 田	281.5	276.0 (1998 年)	1937 年	116.8
	若 松	154.5	148.1 (1955 年)	1954 年	80.5
2 位	深 浦	222.0	249.5 (1955 年)	1940 年	108.8
	白 河	187.0	191.0 (1997 年)	1994 年	120.0
3 位	秋 田	233.5	259.5 (1955 年)	1886 年	122.8
	新 庄	155.0	181.0 (1992 年)	1986 年	106.6

月間日照時間 少ない方からの極値・順位更新

順位	地点名	日照時間(h)	これまでの最少(h)(起年)	統計開始年	平年値(h)
1 位	大船渡	132.1	149.0 (1995 年)	1964 年	196.3
	新 庄	132.6	145.6 (1997 年)	1986 年	180.1
2 位	盛 岡	147.7	128.9 (1955 年)	1924 年	194.9
	仙 台	131.7	123.2 (1929 年)	1927 年	198.7
	石 巻	139.1	132.5 (1920 年)	1899 年	206.5
	山 形	135.4	95.2 (1920 年)	1895 年	201.9
	小名浜	135.5	130.3 (1945 年)	1910 年	198.4
3 位	若 松	154.3	140.5 (1992 年)	1954 年	197.9

(7) 参考資料

2004年(平成16年)梅雨入り・梅雨明け						
	梅 雨 入 り			梅 雨 明 け		
地方	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
沖縄	5月 5日頃	5月 8日頃	5月 15日頃		6月 23日頃	6月 20日頃
奄美	5月 13日頃	5月 10日頃	5月 13日頃		6月 28日頃	6月 27日頃
九州南部	5月 29日頃	5月 29日頃	6月 9日頃		7月 13日頃	7月 22日頃
九州北部	5月 29日頃	6月 5日頃	6月 9日頃		7月 18日頃	7月 31日頃
四国	5月 29日頃	6月 4日頃	6月 10日頃		7月 17日頃	7月 31日頃
中国	5月 29日頃	6月 6日頃	6月 10日頃		7月 20日頃	7月 31日頃
近畿		6月 6日頃	6月 10日頃		7月 19日頃	8月 1日頃
東海		6月 8日頃	6月 10日頃		7月 20日頃	7月 31日頃
関東甲信		6月 8日頃	6月 10日頃		7月 20日頃	8月 2日頃
北陸		6月 10日頃	6月 12日頃		7月 22日頃	8月 1日頃
東北南部		6月 10日頃	6月 12日頃		7月 23日頃	特定せず
東北北部		6月 12日頃	6月 12日頃		7月 27日頃	特定せず

梅雨は季節現象であり、その入り・明けは平均的に5日間程度の「移り変わり」の時期があります。

- 1) 平年の時期は1971年～2000年、昨年の時期は事後検討結果の月日。
- 2) 遷移期間を含んでいるため単純に平年と比較できない。やむを得ず使う場合は「遷移期間の概ね中日で比較して「日程度早い」とする。
- 3) 1993, 1998年東北・北陸及び2001年東北北部については、梅雨と不順な夏の区別が出来ないため、梅雨明けを特定しなかった。

解説用階級区分値

		かなり早い	平年より早い	平年並	平年より遅い	かなり遅い
梅雨入り	東北南部	～6月3日	～6月7日	～	6月12日～	6月19日～
	東北北部	～6月4日	～6月9日	～	6月14日～	6月22日～
梅雨明け	東北南部	～7月14日	～7月20日	～	7月27日～	7月31日～
	東北北部	～7月14日	～7月22日	～	7月31日～	8月8日～

なお、本年の梅雨入り・梅雨明けについては、当日までの天候経過及び数日から一週間程度の天候の予想に基づいて速報的に発表した値です。後日、それまでの天候経過を考慮して梅雨入り・梅雨明けの時期を事後検討し、確定して発表しています。